



謹賀新春



今年もよろしく
お願いいたします。

一日のおわりに、天、地、人へ感謝のところで結べること

経理部長：伊藤 秀子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、格別のご愛顧を賜わりまして、心よりお礼を申し上げます。

昨春には、社長の地方への移住がありまして、大変驚きましたが、「まほろば」を創業した原点に立ち帰るといふ社長のお話を伺いまして、入社当初より見聞きしていた村づくりが、いよいよ始まったように思い、納得ができました。

夏には、私事ですが、息子の結婚を期に、苗字を旧姓に戻しました。先祖を護ってほしいという思いを託したためです。振り返りますと、公私共に大きな変化が起きた一年でありました。

昔のように、小さな村々の中で自給自足で完結できる暮らし。現在の生活を逆行しているように思えますが、次から次へと求めるほどに、欲求は際限がなく、却って、ところが枯渇していくように思えてなりません。

一日のおわりに、天、地、人へ感謝のところで結べること。質素ではあれ、そのような暮らしをしたいです。

お店では、ただ商品を買っていただくのではなく、お客様、生産者の方々のおもいがつなげる場であることを、ここに留めて努めてまいりたいと思っております。

この一年が幸多き年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞ変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。

『報・連・相』そしてあらゆる立場に立って、物事を考え

本店 バックヤード主任：小田島 町枝

あけましておめでとうございます。昨年中のご愛顧、誠にありがとうございます。穏やかな大晦日、そして三箇日でした。

昨年は私にとって整骨院通いの一年でした。

スタッフみんなに心配をかけてしまいましたが、自分の定休以外にも有休を使い、体を療しに温泉通い。体を温めながら、お湯の中でストレッチを行い、休憩室ではテニスボール二個を使って筋肉をほぐす運動をして何とか仕事を続けられました。

治療していただいた先生、そしてバックアップしてくれたスタッフのみんなに感謝です。ありがとうございました。60才を過ぎていきますので、無理をせず体力に応じたガ

ンバリ方をしていきたいと思えます。

さて、昨年の課題はどうだったか。『コミュニケーション』70%位は出来たと思っておりますが、まだまだ足りていないと思っております。今年は『報・連・相』そしてあらゆる立場に立って、物事を考えどれがベストの方法が考え、実行していく。当たり前のことばかりですが、とても大切でとても大変で難しいことだと思います。

今年の課題『報・連・相』でがんばります。

今年もまほろば共々、よろしくお願い致します。



レジから配達・発送・発注の仕事に変わりました。

本店 バックヤード主任：小原 大輔

新年明けましておめでとうございます。

昨年4月頃よりレジでの仕事から配達・発送・発注の仕事に就くことになり、店頭からバックヤードの仕事に移ることになりました。毎週土曜日

は西区界隈の配達ですので、ご来店のお客様とお会いする機会も今まで通りあるのですが、そのほか市内のお客様とは顔を合わす事がとても少なくなりました。

配達と言えば昨年末の大雪は札幌市内で60年ぶりのこと。混雑状況は大変なもので、いつも各曜日の配達を依頼している佐藤ドライバーと私の二人で配達に回りました。道はガタガタ、ツルツル、一車線など悪条件が重なったり、私の場合は普段の配達区域とは違いますので場所の確認

もしながらの作業も加わり、とにかく時間が掛かってしまい、夜分遅くのお届けとなってしまいました。本当に申し訳ございませんでした。

特に、今回配達をして思ったのが、駅や停留所などから結構離れた所にお住まいのお客様の事です。交通機関の乗換えや、結構な距離を歩いたり、その上マンションが階段だったりすると、調味料やお米など重い商品を運ぶのは、本当に大変です。改めて配達が必要だなと思いました。

そんな中、せっかく購入しようとご来店頂いたにもかかわらず、欠品や取り扱いの無い商品などもあり、ご迷惑をお掛けすることも多くある事と思えます。中にはお取寄せの可能な商品もございますので、どうぞお気軽にお声掛けください。ぜひ皆様のご来店をお待ちしております。

それでは今年一年どうぞ宜しくお願い致します。

他店にはあまりないような新しい商品や季節感を大切に

ソフテリア主任「ペーカリー・フィニクス」チーフ：宮本 善夫

新年あけましておめでとうございます。旧年はソフテリアのパンをご利用いただきほんとうにありがとうございました。

今年は酉年ということで個人的にはソフテリアのパン部門正式名称「phoenix」という名前が連想されました。

私が入社したばかりの頃のエピソードで、社長から「phoenix」は「フェニクス」という発音の方ではなく、ギリシア神話の「フィニクス」と発音するのだと楽しそうに話されていたことが浮かんできます。

ウィキペディアで「フェニクス」と調べてみると様々な逸話があるようなのですが、共通しているのは「自ら炎に飛び込んで死に、再び蘇る」という点で、私としては「新しい始まり」「循環する命」のようなイメージが湧いてきたのです。

「phoenix」の新しいパンを考える上で、伝統的な配合や製法を基本に据えながら、安全安心な素材はもちろん、他店にはあまりないような新しい商品や循環する季節感を大切にしながら、今年は「有機無農薬」や生地改良剤や合成添加物「無添加」であることの価値をお伝えしていければと思っています。

今年は新しいスタッフを迎え、私自身、気持ちを新たに、まほろばらしい商品を提案していきたいと思っていますので、ソフテリア「phoenix」のパンを今年もどうぞよろしく願いいたします！



“みんなが好くなるにはどうすれば良いか”を考えながら

本店：店内主任：斉藤 恭兵

新年、明けましておめでとうございます。本年も、みなさまが健康で平安な毎日を過ごされますようお祈りいたします。

1月2日、自宅から近くの神社に初詣に行きました。神社に行くのは、一年のうちでもこの時だけ。久しぶりのお参りでした。みなさまは今年、どんなお祈りをされましたか。

自身や家族の健康、仕事や経済的な安定など、自身とその周りの幸せを祈る。そんな事が、今までの私にとっては普通でした。ですが、今年は何かがちよつと違っていました。

お参りの列に並ぶ間にふと思った事。それは、「個人的に願うべきことは特に無いなあ」という事。そして、「世界中のみんなが平安な気持ちで、幸せな毎日を過ごせますように」。そんな風にほんやりと思ったのでした。今までの自分にはあり得ない発想で、とても驚きました。それと同時に、自分がこんな風に変化して、こんな祈りをするのだから、もしかしたら世界中の沢山の人が同じような祈りをしているかもしれない。これは自分だけの変化ではなく、地球規模での意識の変革なのかもしれない、と思ったのです。

ここ数年、今まで隠されていた事が明るみに出たり、常識と思われていた事が覆されたり、長く続いていたものが幕を引いたり、何か新しいサイクルへと移行する真つ只中に居るような感覚があります。価値観の崩壊のなかで、新しい人生観や世界観を獲得して、人間は新たな方向へと、生き方をシフトして行くのでしよう。それは、まほろばの理念のひとつである「無限心」のように、個から全体へ、日本から世界へ、地球から宇宙へ、そして個と全体が一体となって調和する

幸せのかたちのようにも思えます。

昨年4月頃から、私はバックヤードから売り場へと部署異動し、店舗主任となりました。

今までよりもお客様と直に顔を合わせてお話ができる事、店内のレイアウトや管理全般を受け持つ事に責任とやりがいを感じています。それと同時に、今までの仕事に対する姿勢を改めて考えさせられる、そんな場面もありました。

毎月の「感謝デー」。「売り出し」とか「セール」とも呼んでいますが、今まで自分は「感謝デー」と呼んだ事はありませんでした。その事実に触れた時、自分には「感謝」が圧倒的に足りていないと感じました。お客様への感謝、まほろばが在りそこで働いている事への感謝、上司や同僚への感謝…。そもそも「感謝デー」とは、毎月一度、お客様への感謝を表す日であり、只の安売りで忙しい日では無いという事。そんな極々当たり前の事が今更腑に落ちた瞬間でした。日々の“当たり前”が一番尊く、一番難しいのかもしれない。

今回の気付きをきっかけに、“お客様に気持ち良くお買い物をして頂く”という当たり前の視点に立った店づくりや、従業員同士の意思疎通を重んじ、「まほろば」と「お客様」がお互いに感謝できる調和のとれた関係性を、改めて築いていきたいと思えます。

冒頭の話に戻りますが、“自分だけが好ければそれで良い”という時代は終わったのだと思います。きれい事ではなく、“みんなが好くなるにはどうすれば良いか”。その事をみんなでごく、実行に移す。是非そういった年にしたいです。

まだまだ至らない点も多いですが、今年一年また頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

